



南高州いんすた21

地域ぐるみ環境ISO研究会 No.291

ぐるみ通信

09.02.16

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

三菱電機(株) 太陽電池セル工場 拡張に着手!

三菱電機(株)中津川製作所飯田工場(飯田市松尾代田)が、太陽電池セル第2工場の拡張工事に着手しました。この工事の概要や今後への期待について、寄稿いただきました。

~~~~~

2009年1月21日(水)に「太陽電池セル第2工場」を新設するに伴い、安全祈願祭を行いました。第2工場は敷地面積約5,710㎡、延床面積約24,000㎡、鉄筋コンクリート造5階建てとなっており、屋上には生産時の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を削減する目的で太陽光発電システムを設置する計画となっています。竣工予定は2009年の12月を目指しています。

三菱電機では環境経営における長期ビジョン「環境ビジョン2021」を策定し、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を削減する取り組みの中で太陽光発電システムの普及と発電効率の向上を目指しています。太陽電池セル第2工場新築後は生産体制の整

備・強化(現在220MWの生産能力を600MWに増強)を進めると共に光発電変換効率18.6%を達成した多結晶太陽電池セルを今後製品化し業界トップの電力変換効率97.5%を誇るパワーコンディショナーと組み合わせて、効率の良い太陽光発電システムの普及促進に努め、地域環境保全と持続可能型社会の実現に貢献していきます。世界的に環境意識が高まっている中で飯田工場としましても地域ぐるみ環境ISO研究会の活動理念である「地域の自然を残し持続可能な地域づくりの為、新しい環境改善の地域文化を創造する」を念頭に置いて更なる環境改善に努めていきたいと思ひます。

また、今年1月23日(金)に飯田市が環境モデル都市に選定されました。飯田市の提案は「おひさま」と「もり」のエネルギーが育む低炭素な環境文化都市の想像ということで、当社も「おひさま」の力を借りて、未来に「もり」を残せるよう頑張っていきたいと思ひます。

~~~~~

国内でもトップクラスの規模の工場が誕生します。地域の活性化と共に事業の益々の発展を願っています。



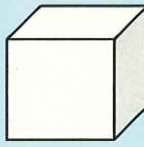
三菱電機 中津川製作所飯田工場(長野県飯田市)
太陽電池セル第2工場 完成イメージ図

CO₂の重さ? 体験しました

■ CO₂は気体なのに、「排出量50万トン」などと重さで表現されているのはなぜでしょう?

気体を体積で表現すると、不都合なことがあるんです。例えば、10グラムの空気が入った風船があると仮定します。この風船を暖めると大きく膨らみますよね。空気の体積は、測定時の気温や周囲の気圧の違いで変わってしまいます。でも、重さで表現すると、どんな条件でも変わりません。気温や天候に左右されることがないので、世界共通の指標になっているそうです。

ここに1m³の空気があります。
(一辺100cm)



=問題=
この空気の中に、どのくらいCO₂が入っているでしょうか?

1月24日長野県環境保全研究所のご協力により「自然ふれあい講座」が開催されました。最初に「地球温暖化」について気温の変化や自然界の変化の説明のあと、「一辺1mの立方体の空気の中にはどれくらいのCO₂が入っているか」「もしこれが全てCO₂だったら何kgになるでしょう」などクイズ形式で楽しく体験できました。

その他、「家庭でできるCO₂の削減の取組カード」を選んで、そのカードに付けられたバーコードを読み取ることにより、削減量が解る仕組みです。一家庭で10%を削減する目標としましたが、大変だと改めて認識でき、小さなことでも積み重ねが大切だと思ひました。

※[問題の答え]

重量で約5g、体積で約7cmの立方体

[ご意見・お問い合わせ・配読解除]

地域ぐるみ環境ISO研究会事務局
沢柳俊之(多摩川精機)

toshiyuki-sawayanagi@tamagawa-seiki.co.jp

横田 豊(飯田市役所)

ic1386@city.iida.nagano.jp



南信州 いむす21

地域ぐるみ環境ISO研究会 No.292

ぐるみ通信

09.03.10

<http://www.city.iida.lg.jp/idasyspher/kankyo/iso/index.html>

一般廃棄物収集運搬と軽運送業を営む事業所です。独自の安全運転ノートを作成し車輻管理整備の徹底と低公害車の導入など環境汚染の予防活動を実践しています。

飯田建設の三石社長は「継続的に取り組むことで、地域資源や経済が循環する社会構築に微力ながら貢献したい」と抱負を述べられました。

今村良子さん 「南信州地域づくり 大賞」受賞！



今村さんはこの度、県と地方職員共済組合長野県支部が主催する「南信州地域づくり大賞」

の「くらし・環境部門」で特別賞（峰竜太賞）を受賞されました。

今村さんは、買い物時のエコ行動を中心としたグリーンコンシューマー活動を軸に、エコの行動者として、また、県と南信州地域の先導者として積極的な活動をしてこられました。平成19年度には、「NPO法人グリーンクラブい〜だ」から、新たに「グリーンクラブい〜だ」を再結成して、レジ袋削減のため行政に働きかけを行い、平成20年8月に「南信州レジ袋削減推進協議会」の設立に至りました。その結果、県に先駆けて南信州独自のレジ袋削減の取組が飯田下伊那において行われるようになり、今年2月から、南信州地域においてレジ袋有料化が始まりました。



また、地球温暖化防止活動に対しても早くから取り組んでこられ、平成7年頃から当時はまだほとんど普及していなかった環境家計簿への取組や、県の温暖化防止県民計画の策定にも関わってこられました。平成19年からは、飯田地球温暖化対策地域協議会会長として、様々な取組を

推進しておられ、現在、当地域の環境問題解決のための中心的な存在として活躍されています。

その他、環境以外の分野でも、飯田市で進める農業体験学習の受け入れ農家としても協力されています。

また、行政関係でも「ムトス推進委員会」「公共事業評価監視委員会」「行政改革推進委員会」などの委員としてご活躍されています。

いむす21 登録証交付（新規1、更新3）

3月2日「南信州いむす21」登録証交付式が行われました。今回登録となった事業所をご紹介します。



①初級新規の「飯田建設(株)」は建築土木設計施工に加え環境事業、語学教室を行っています。社長さんご自身が環境に対する意識が高く、社内の暖房はすべてペレットストーブにするなどの取組をされています。

②初級更新の「飯田クリーン(有)」は一回目の更新です。塵芥収集をはじめ産業廃棄物収集を行っており、その収集車にバイオ燃料を使用するなど環境活動を積極的に行っています。

③初級更新の「(有)福岡清掃事業所」は一回目の更新です。一般廃棄物収集及び運搬を行っており、月1回事業所周辺のゴミ回収や収集時のエコドライブに心がけ意識の高い活動を行っています。

④初級更新の「(有)竹原運送店」は

飯田こども環境会議

地域の未来はわたしたちにまかせて



2月21日に開催された飯田こども環境会議の様子です。

市内のエコキッズやジュニア環境チェッカーなど約40人が集まり盛大に開催されました。当日は「環境アドバイザー」の皆さんが講師となり①CO2の重さ体験②エコジャックでCO2を測る③環境活動発表④こども環境宣言が行われ、二酸化炭素削減など未来の地球環境について学びました。以下は参加した子どもさんたちからの感想です。

Aさん:CO2は重いことと目に見えないことがわかった。

Bさん:環境を守るために、自分ができることはなるべくやろう。

Cさん:学校でゴミ拾い遠足をしてみたい。



<活動発表の様子>

※3月19日研究会代表者会議が行われます。

<午前10時から 市役所にて>

[ご意見・お問い合わせ・配読解除]
地域ぐるみ環境ISO研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
横田 豊 (飯田市役所)
ic1386@city.iida.nagano.jp



南信州いっす21

地域ぐるみ環境ISO研究会 No.293

ぐるみ通信

09.03.23

<http://www.city.iida.lg.jp/iidasphere/kankyofiso/index.html>

- *ノーレジ袋参加者数 26,680人
- *ノーマイカー参加者数 9,179人
- *ライトダウン参加者数 13,656人

CO₂換算で約27.8tの削減となりました。

以下、取り組みで出された意見です。

- A：女性会がレジ袋を製作し会員に配布しました
- B：ノーレジ袋はコンビニでも参加してもらおうと良い
- C：レジ袋の有料化は環境意識の高揚になった
- D：従業員にマイバックを支給しました
- E：常に車の中や鞆の中にマイバックを入れています
- F：近くへの買い物は子どもと散歩をかねて歩きました
- G：徒歩通勤しながらゴミ拾いを行いました
- H：夜間（12時以降）の広告塔の照明を消せば効果があるのでは
- I：保育所でもエコ活動をして子どもたちも家庭で積極的に頑張ってくれています
- J：待機電源をこまめにオフにして節電しています
- K：この活動が当初にくらべ熱が冷めている感じがする。次へのステップが難しい
- L：1週間単位でなく1か月単位の長期で取り組めばより成果が得られる

貴重なご意見をありがとうございました。次回への参考とし、更に大きな環にしていきたいと思います。

■日本ジオパーク認定

南アルプス（中央構造線エリア）が日本ジオパークに認定され3/10に認定証書が届けられました。日本ジオパーク認定は、南アルプスの自然遺産価値を地質学の見地から認められたものです。

■環境チェッカー中間報告会

飯田市の環境チェッカー（98人）は市から委嘱を受け、市内の指標動植物の調査を行っています。今回の中間報告会3/14では、タヌキやハクビシンなどが増加していて、15年前と比べ市内の自然環境が大きく変化していることが確認されました。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]

地域ぐるみ環境ISO研究会事務局
沢柳 俊之（多摩川精機）
横田 豊（飯田市役所）
ic1386@city.iida.nagano.jp

我が家のエコ！ 我が職場のエコ！ 教えてください

地球温暖化問題は日々深刻になっています。家庭で、職場で環境に負担をかけない行動の積み重ねが大切になっています。そこで…皆さんが日ごろ実践している取り組みやちょっとした工夫でできる温暖化防止のための「アイデア」を教えてください。以下のHPに応募シートがあります。

<http://www.ecocafe-iida.com/>
「エコカフェいっだ」で検索してください。

★ご応募特典

簡単にCO₂排出量の目安が測定できる「エコジャック」プレゼント



〈山崎教育システム社製〉

★活用について

ご応募いただいたアイデア等をHPに紹介し、冊子にして広く地域の皆さんに公開することによって、一人ひとりの取り組みにつなげていきます。こうした輪を広げ、地域全体で温暖化防止に向けた取り組みを推進していきます。

★応募〆切 3月31日

★お問い合わせ

飯田地球温暖化対策地域協議会

（飯田市役所環境課内）

TEL 22-4511（内5149）



21年4月～ エネルギー使用量の 把握を

事業者は、改正省エネルギー法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）の一部改正により、平成21年4月から年間エネルギーの使用量を原油換算で把握する必要があります。

改正のポイントは、単一事業所単位（工場単位）で一定のエネルギー使用量以上を規制対象としていたのを、事業者単位（企業全体）のエネルギー使用量1500kℓ以上を規制対象とするものです。

地方自治体の場合、原則は首長が代表者となる単位として検討されています。

21年度のエネルギー使用量が1500kℓ以上の場合、「エネルギー使用状況届」を管轄する経済産業局に提出することにより、「特定事業者」として指定され、「エネルギー管理統括者」や「エネルギー管理企画推進者」の選任が必要となります。

努力目標は年1%以上のエネルギー使用量の低減です。

未だ、検討中の事項が多く、細部は今後Q&Aが作成されるとのことです。

※関東経済産業局のホームページの「省エネルギー・新エネルギー」で情報収集してください。

一斉行動ご協力ありがとうございました。

「京都議定書発効4周年を記念した一斉行動週間」2/13～2/19に取り組みました。

今回の取組は2月から飯田下伊那地域における「レジ袋有料化」がスタートしたこともあり、自主的にマイバック持参での買い物が広く定着しているように感じました。

109事業所（内研究会29）9,702人が行動に参加していただきました。

＝集計結果です＝



南信州 いむす 21

地域ぐるみ環境 ISO 研究会 No.294

ぐるみ通信

09.03.30

<http://www.city.iida.lg.jp/iidasphere/kankyosiso/index.html>

新たなスタート 地球温暖化対策課

この25日飯田市では4月1日付けの人事異動内示がありました。

現行の環境課を二つに分けて、新たに「地球温暖化対策課」が誕生します。

主に、「環境モデル都市行動計画」に基づき推進していきます。小林敏昭課長(工業課より)以下8人のスタッフとなります。

地球温暖化対策は、一部署で解決できる課題ではありません。全庁的及び市民の総ぐるみで取り組む必要があります。

「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」の事務局も地球温暖化対策課内となります。



地域ぐるみ環境 | ISO研究会代表者会

3月19日、地域ぐるみ環境 ISO 研究会代表者会(代表・萩本範文 多摩川精機社長)が開催されました。環境モデル都市行動計画への協力をはじめ温室効果ガス排出量の把握などの議案が承認されました。



★【確認・決定された事項】

- (1) 環境モデル都市に決まった飯田市の活動取組について研究会として協力していく。
- (2) 温室効果ガス排出量を事業所ごとにモニターし、研究会での取り組み活動の共通指標とする。ただし、会としての数値目標は定めず、各事業所の目標に委ねる。
- (3) 「南信州 いむす 21」のガイドブックを実務者レベルで素案を作成していく。
- (4) 「百万人のキャンドルナイト in 南信州」への活動参加要請に応え、研究会として協力していく。
- (5) 09年度事業計画について承認
- (6) 会計報告について承認

★【協議、意見など】

●飯田市環境モデル都市の取り組み方針について

- (1) 温室効果ガス削減の数値目標を掲げて取組むことは、大切であるが、それを達成するための施策が具体的でない。
- (2) 「おひさま」(太陽光)の取組は分かり易いが、「もり」を活用する

計画について、伐採・間伐などは供給側の理論ばかりであり需要がなければ産業の循環にならない。

(3) 研究会への期待の大きさを感じるが、具体的な役目について実務者レベルで今後詰める必要がある。

●百万人のキャンドルナイト in 南信州について

(1) 夏至、冬至の二日間、夜8時から2時間電気を消すというアイディアは現実的ではないのではないか。出来ない事を掲げて空想ではないか。

●研究会全般について

(1) 会が発足して12年、このような活動は、経済の浮き沈みに関係なく活動の軸がブレてはならないと思う。実務者レベルで活動素案が提示され、代表者が承認するスタイルも否定はしないが、企業のトップからの活動提案があってもよいと思う。代表者だけの会議を持つことも検討されたい。

★【その他】

- (1) 南信州地域公共交通問題協議会について
- (2) 森林づくり南信州地域会議について
- (3) 「我が家のエコ、我が職場のエコ」募集について



薪ストーブ 普及高まる

飯田地球温暖化対策地域協議会では、薪ストーブ・ペレットストーブ・太陽光発電・太陽熱温水器の導入助成を行っています。平成20年度の実績(件数)をお知らせします。()は前年度

- ・薪ストーブ…33(23)
- ・ペレットストーブ…7(12)
- ・太陽光発電…29(34)
- ・太陽熱温水器…63(61)

平成21年度は住宅用太陽光発電システム設置奨励金を現在の1割当たり3万円(上限10万円)が1割あたり7万円(上限20万円)になる予定です。国の補助金と合わせての利用をおすすめします。

■飯田市最終処分場

愛称「グリーンバレー千代」
3月29日竣工式が行われました。
4月1日から稼働します。
お問い合わせ：59-1153

[ご意見・お問い合わせ・配読解除]

地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局

沢柳 俊之(多摩川精機)

横田 豊(飯田市役所)

ic1386@city.iida.nagano.jp



南信州いむす21

地域ぐるみ環境 ISO 研究会 295

ぐるみ通信

09.04.14

<http://www.city.iida.lg.jp/iidasphyer/kankyo/iso/index.html>

地球温暖化対策 推進本部を設置

飯田市では、10日に「飯田市環境モデル都市行動計画」を内閣府に提出しました。(詳細の行動計画はホームページでご覧いただけます)並行して地球温暖化対策課内に渡邊副市長を本部長とする「地球温暖化対策推進本部」を設置しました。温暖化対策を横断的に事業展開していきます。写真の看板は、地元遠山杉の間伐材を活用しました。(題字：小林課長)



おひさま進歩エネルギー 環境価値創造パール大賞

「第7回日本環境経営大賞」の環境価値創造部門の最優秀賞をおひさま進歩エネルギー(株)が受賞されました。

おひさま進歩では、太陽光、熱、風、森林など地域の資源を活用し、市民出資である「おひさまファンド」を通じて地域エネルギー事業を行い、事業収益から出資者に元本と利益を還元する取組です。



地域内への設備投資として、約1,000名の市民出資(約4億円)と国庫補助(約7.5億円)を投下し、「市民共同のおひさま発電所」として、2004年から4年間で保育園や民間事業所などの屋根に約150カ所、合計1,281kwの太陽光発電システムを設置し年間約3,000万円の売電をしています。

エネルギーの地産地消とともに、市民出資という手段を通じお金に意思を持たせている点が特徴的です。

なお、当研究会も第2回日本環境経営大賞で環境フロンティア部門の地域交流賞を頂きました。



環境首都コンテスト 飯田市 総合第3位

第8回(2008年度)環境首都コンテストの結果が公表されました。

当市は昨年に引き続き総合第3位、人口規模別順位では第1位という結果でした。

当コンテストの主催は環境NGOのネットワークである「環境首都コンテスト全国ネットワーク」が審査し表彰されるものです。総合第1位は水俣市、第2位に長野市がはいりました。

また、先進事例特別表彰に以下の二つの取組が対象となりました。

市で行う会議にリターナブル瓶の利用

公共交通利用者の大幅増加
昨年実施した、環境首都を目指す自治体全国フォーラム in 飯田でもリターナブル瓶は好評でした。



2008年度のコンテストでは、67自治体の参加がありました。

満点が1020点の内約6割を得点しましたが、「ごみの減量化」と「自治体内部における環境基本行動」政策に弱い点が伺えました。

「環境モデル都市行動計画」と並行して引き続き「環境」をキーワードに取組を進めていきたいと思えます。

~~~~~  
~~~~~

お知らせ

研究会実務者会

4月23日午後3時30分

* 温室効果ガス排出量の把握について

* “南信州いむす21”ガイドブック作成について

* 環境の日一斉行動週間の取組について

* 環境モデル都市について

“竹宵まつり”百万人のキャンドルナイト in 南信州

6月6日(土)19:00~22:00

「1万人で創るキャンドルナイト」飯田のシンボル「りんご並木」を彩る1万本の光...

PM8:00~PM10:00 街中がライトダウン。キャンドルの灯りで過ごすスローな夜。



[ご意見・お問い合わせ・配音解斜
地域ぐるみ環境ISO研究会事務局
沢柳 俊之(多摩川精機)
横田 豊(飯田市役所)
ic1386@city.iida.nagano.jp



瀬戸市環境パートナーシップ事業者が視察に

瀬戸市「環境配慮事業所認定制度検討委員会」5名の皆さんが飯田市に視察に見えられました。

視察の目的は、飯田版環境 ISO である「南信州いいむす21」の仕組みと「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」の活動などについてです。

瀬戸市の委員会も、当研究会と同様に30名の会員で構成され、様々な課題の検討会があるそうです。

特に、認定のメリットについて質問が多くだされました。当然ですが事業者ですので安価での認定とはいえ費用対効果を意識されています。

このような機会を通じて、新たな交流を深めたいものです。

雨水で水まき =川路保育園=

飯田市立川路保育園では、園に設置した雨水タンク(500リットル)を利用して花壇に水やりを行いました。

雨水は毎日花壇や畑の水まきに利用しています。飯田では、5月に入り梅雨を思わせるような雨が降りタンクには一杯の水が入っています。

「じょうろ」を持った園児たちが順



番にタンクの水を使って自分たちの花壇に楽しそうに水やりをしています。

飯田市でも公共施設7カ所に雨水タンクが設置されています。

一般家庭向けにも雨水タンクや浸透マスの導入について補助金を準備しています。資源の再利用だけでなく災害防止のためにも導入活用をお願いします。

「飯沼地区事業所環境保全対策協議会」



飯沼地区事業所環境保全協議会の平成21年度総会が開催されました。

この協議会は昭和51年8月に発足した会で(株)イダサービスの林社長が発足当初から代表を務めています。

この地域は自動車関連事業所をはじめ33事業所が環境保全活動に取り組んでいます。

総会にあたり林会長は、地球46億年の歴史の中での温暖化の話を会員の皆さんに真剣に語っておられました。総会は大変日当たりがよくまた、風通しの良い会場で照明は消されていました。

総会では、「南信州いいむす21」への積極的な関わりや「環境モデル都市」移動手段の低炭素については様々なご意見やアイデアをいただきました。

~~~~~

## オムロン飯田(株) 環境保全活動

5月9日(土)オムロン飯田株式会社で、「オムロンデー社会奉仕活動」を実施しました。これは、親会社であるオムロン株式会社(本社:京都市)の創立記念日5月10日に「オムロンデー」と称して行うボランティア活動で、オムロングループ国内外含めた全拠点で、毎年実施しています。



当日は晴天に恵まれて、社員約100名が参加。日頃お世話になっている地域社会への感謝を込めて通勤道路のごみ拾い、カーブミラー清掃、地元障害者施設「明星学園様」の清掃活動を行いました。ゴミ拾いは国道151号線から三日市場の信号までのエリアを3ルートに分かれて拾い、ゴミは年々減少傾向となっています。一番多い年はトラックいっぱいになった事もありましたが今年はその3分の1程度で、大型ゴミも以前に比べてまったく無くなりました。

ゴミが落ちていない場所には「捨て辛い」という意識が働きます。毎日通勤する道路がきれいだと、やっぱりうれしいものです。綺麗な道路を維持し続ける事が目標です。

~~~~~

=お知らせ=

「環境の日」一斉行動にエコキャップ運動が新たに加わります。ポリオワクチンの購入費用に充てます。

6月6日「竹宵まつり~100万人キャンドルナイト in 南信州」が開催されます。是非ご参加ください。

[ご意見・お問い合わせ・配読解翁]
地域ぐるみ環境ISO研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
横田 豊 (飯田市役所)
ic1386@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信

09.06.02

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

南信州いいむす 21 4事業所に登録証交付

飯田地域独自の簡易環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の登録証が4事業所に交付されました。



飯田工業株式会社

平成18年4月に初級を認証取得され、今回、初めての更新において中級の認証取得にステップアップされました。

ガソリンの消費削減や電気使用量の削減を目標としています。

株式会社丸中 中根園

平成14年8月に初級を認証取得され、今回は二度目の更新です。

電気使用量の削減や営業活動における使用燃料削減を目標としています。

有限会社カメヤマ

平成17年12月に初級を認証取得され、今回が最初の更新です。

収集車のアイドリングストップの徹底を目標としています。

五十川商店

平成17年12月に初級を認証取得され、今回が最初の更新です。

ゴミの削減や節電・節水など節約を目標としています。

4事業所とも環境に対する意識が高く継続的に取り組まれています。現在、登録事業所は55事業所となりました。

日本一アツイまち 環境自治体たじみ会議

5月27日～29日岐阜県多治見市で環境自治体会議たじみ会議が開催されました。

多治見市は昨年夏40.9℃を記録し日本一暑いまちとして知られています。この日、国内の63自治体がアツク環境辞交交換を行いました。

岐阜県では全県レベルでレジ袋の有料化を行い、約9割の普及率を達成しているとのことでした。

牧野飯田市長がコーディネーターとして参加したパネルディスカッションでは、「地域特長の技術・自然・歴史を生かすことが必要」「市長だけが元気で駄目」「域外からの高い評価が励みになる」「都会に行っても戻りたくないまちづくり」「団塊の世代は人材の宝庫だからうまく力を借りる」「ボランティア・NPOを役所の下請けにしない」などなど意見が出されました。

3日間を総括して、「循環型社会への取り組みを通して、環境に配慮したライフスタイルを実践します。」他4項目にわたる「たじみ宣言」が確認され終了しました。



左側：飯田市おひさまシンボ「さんまちちゃん」

中央：さかなクン

右側：多治見市キャラ「うながつぱ」

「環境の日」 一斉行動の取り組み

地域ぐるみ環境 ISO 研究会では、6月5日の環境の日を記念した一斉行動に取り組みます。

恒例の取り組みである ノーマイカー ライトダウン ノーレジ袋に加え、6日に開催の「竹青まつり～100万人のキャンドルナイト in 南信州」のイベントに参加します。

今回、新たな取り組みとして、6月の一カ月を「エコキャップ運動」に取り組みすることとしました。

キャップ1kg10円で換金し、世界の子どもにポリオワクチンの購入費用に充てます。

多くの皆様のご協力をお願いいたします。



[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
横田 豊 (飯田市役所)
ic1386@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信

09.06.26

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

南信州いいむす 21 南信州宣言登録証交付

6月23日、飯田市環境自らの簡易環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の最高レベルであるISO14001南信州宣言の適合確認証が当研究会のメンバーである木下建設(株)さんに交付されました。

南信州宣言は平成18年12月に(株)三六組さんの認証取得以来2事業所目となります。



木下建設は国際規格であるISO14001を平成13年に認証取得されこれまで環境改善活動に取り組みられてきました。

=環境方針=(抜粋)

木下建設株式会社は、最新の技術を用いて環境に配慮した製品をお客様の要望に合わせて提供し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

かけがえのない自然環境を壊さないように次の世代に引き継ぐことが大切であると考え、環境と調和した製品づくりに努め、自然環境を重視した積極的な活動に取り組みます。

木下社長は、一事業所で取り組むより地域全体(面)での取り組みが効果的であり、このシステムは費用対効果の面でもメリットは大きいと話されました。

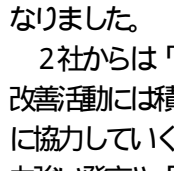
トップインタビュー 低炭素社会の創造を

6月24日、市長トップインタビューを実施いたしました。

今年、南信州いいむす21の「南信州宣言」に適合された(株)三六組から春日常務と木下建設(株)から木下常務をお招きし、市長と3者で鼎談という形で行いました。



自己適合宣言である飯田市役所では、7月の一カ月間内部監査を行います。それに先駆けて重点監査事項について市長の考えを聞く機会となりました。



2社からは「環境改善活動には積極的に協力していく」と力強い発言や、「低炭素社会に向けては一部署のみとならないように」、「行政機関のいいむす21の取り組みが少ない」などの指摘もいただきました。また、「小中学生を対象としたシステムも必要では」などの提案もいただきました。

まとめとして、市長からは、飯田市は今年1月「環境モデル都市」に選定された事を受けて、全ての事業において環境モデル都市を意識した取組が重要であると締めくくりました。



「ご活用ください」 エコ事業助成制度

太陽光発電器具設置助成

1kWあたり7万円 上限20万円

太陽熱温水器具設置助成

設置費用の1/5 上限3万円

雨水タンク設置補助

100ℓ~500ℓ未満 設置費用の1/2 上限2.5万円

500ℓ以上 設置費用の1/2

上限5万円

雨水浸透マス設置補助

設置費用の1/2 上限2.5万円

ペレットストーブ・ボイラー設置助成

設置費用の1/3 上限10万円

薪ストーブ・ボイラー設置助成

設置費用の1/5 上限5万円

市民の皆さんのご利用を
お願いします！

詳しくは「エコカフェいだ」で
検索してください！

地域ぐるみ環境 ISO 研究会では、この6月から「南信州いいむす21登録企業の支援」を行っています。

各事業所が一步でも環境改善活動が前進される事を期待しています。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之(多摩川精機)
横田 豊(飯田市役所)
ic1386@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信

09.07.27

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

エコキャップ運動 280kg 集まる

6月25日、一番手に長野県飯田長姫高等学校のボランティア推進委員の皆さんが中心になって回収してくれたペットボトルのキャップ約25kgを届けてくれました。



この取り組みは、地域ぐるみ環境 ISO 研究会の呼びかけで「環境の日」を記念して行った一斉行動の取り組みの一つで、今回新たに実施した活動です。

飯田長姫高校では、以前より取り組まれているとの事で、今回の呼びかけに協力していただきました。

7月24日までに集約した結果は以下のとおりです。

協力事業所数 69事業所
エコキャップ量
約280kg、約11万個



今回協力いただいたエコキャップは(有)タカハさんに持ち込み、他のプラスチック製品に生まれ変わります。

換金していただいたお金は J C V (世界の子どもにワクチンを日本委員会) に送金いたしました。約140本のポリオワクチンが購入されることとなります。

回収された280kgについて、皆さんはどんな感想をお持ちでしょうか? ペットボトルの飲料水の1本あたり120円で計算すると、1,300万円にもなります。

この取り組みによりワクチン購入に充てられる事は大変に嬉しい事ですが、こんなに多く飲まれている清涼飲料水の量には考えさせられました。

多くの皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

ごみの分別 組成調査に参加して

市役所 環境課では、現在、ごみの組成調査(ごみの分別状況)を各地区の衛生担当の皆さんと一緒に調査を行っています。

地球温暖化対策課の職員も協力して実施しています。

飯田市千代ヶ原に新たに建設された最終処分場と桐林クリーンセンター(焼却場)で行っています。

残念と驚きは、埋め立てごみの中に、リサイクル可能なペットボトルや空き瓶類が非常に多く混っていました。最終処分場も限られた資産であり、この施設が一年でも二年でも長く使うためには、私たち一人一人が正しく分別することが原点であると改めて認識出来た機会となりました。

環境の日 一斉行動のまとめ

梅雨明け宣言がされているにもかかわらず、天候不順が続いています。

夏は、それなりに暑くならないと農作物への影響も心配されます。

研究会恒例の「環境の日一斉行動」の結果をお知らせします。

- (1) 参加事業所数 120事業所
- (2) 参加者数 10,905人
- (3) ノーマイカー 10,482人
- (4) ライトダウン 14,018人
- (5) ノーレジ袋 29,485人
- (6) 竹青まつり 372人
- (7) 削減されたCO2 30.9t

参加事業所、参加者数ともに前回は上回る結果となりました。地球温暖化防止に向けて小さな取り組みでも継続していきたいと思っております。

豆知識 エコポイント制度

この制度は、国(環境省他)で行っているもので、5月15日から、グリーン家電製品を購入した場合に適用となっております。

申請書は、家電販売店又は、郵便局で入手可能です。申請に必要な書類は、保証書のコピー、領収書/レシートの原本などです。

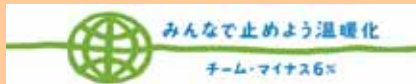
事務局: 0570-064-322

<http://eco-points.jp>

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
 地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
 沢柳 俊之(多摩川精機)
 横田 豊(飯田市役所)
 ic1386@city.iida.nagano.jp



300号記念



09.09.10

http://www.city.iida.lg.jp/iidaspyher/kankyo/iso/index.html

三〇〇号記念実務者の声

三〇〇号を記念して、研究会の実務者の皆様から寄稿いただきました。シリーズでお知らせいたします。

タイトル(題名)	事業
所名 氏名	本文

研究会の活動を振り返って

多摩川精機株式会社
沢柳俊之

地域ぐるみ環境 ISO 研究会が発足して十二年、ぐるみ通信が創刊して八年が経過しました。

研究会が発足した年には、OBS京都会議が開催され、プリウスが誕生しました。また、ぐるみ通信の創刊は、米国で同時多発テロが発生、小泉内閣がスタートした年です。

この間、世界や日本そして研究会の活動基盤である南信州地域を取り巻く状況(環境、政治、経済、産業など)は、大きく変化を遂げました。一部の人が環境問題を警鐘するとか環境問題を学ぶ時代から、多くの人が環境改善の行動を起こし、その成果が

求められる時代となってきました。

研究会の活動理念の一つである「点から面」への広がりが見られ始めています。まだまだ、環境問題を好転させるまでには至っていません。小さな取り組みですが、研究会参加事業所の皆様、地域の皆様、そして全国のぐるみ通信の愛読者の皆様の知恵や力をお借りして、更なる活動を仕掛け、取り組みの環を広げていけば、必ず、住みやすい、豊かな・魅力ある地域になっていくと信じています。

今後、ご支援・ご指導・ご協力宜しく願います。

「環境に関する雑感」

吉川建設株式会社
田畑裕晃

環境というと、最近ではエネルギーに関心が行きがちだが、身体に悪影響を及ぼす化学物質を使用しないこと、排出しないことも大切な環境保護であることを忘れてはならないと思う。

ICネット「エコナビ」【エコライフ検定】から問題を1つ。

Q1: 省エネに配慮したエアコンの使い方、間違っているのはどれでしょうか。

a. 一度つけたらなるべく切らないで使う b. 温度設定は控えめにする c. 長時間の連続運転は控える d. 部屋の断熱を断つ

お分かりになりましたでしょうか。問題はあと九問あります。興味のある方は是非チャレンジしてみてください。
<http://econavi.eic.or.jp/kentai/>

新益用品を通じての環境活動

株式会社光和
田口 茂

八月、盆月に入り、新益の各御家庭に新益用品(切子・提灯・ロソク立)等をお届けいたしました。数年前までは、八月十六日を過ぎると新益用品を家の庭や畑で焼却したり、埋立て処分をしていました。

現在では、各葬祭業者が販売させていただいた新益用品は、業者同士連携をとりながら回収をいたしております。弊社では、少しでも環境活動に繋げようと、回収してきた新益用品を全て分別し、CO2削減に努めております。また、これからは環境に配慮した商品を多く取り入れながら、環境に優しい企業を目指してまいります。

研究会への期待

多摩川精機株式会社
杉山 隆英

昨今のエコブームに便乗した派手な宣伝が蔓延している中から、地道に本質的な活動に取り組んでいるような組織を見抜く目を養うことの必要性を感じています。「環境と名がつくと予算が通りやすい、補助金が出る、外部から名声が得られる等の理由で活動を行うことに違和感を抱いているからです。

愚直な、泥臭い活動の成果を確かな目を持った人が評価することで、それが端緒となり広く社会的に認知されていく。「結果はあとからついてきた」といふ姿が、本来の環境パフォーマンスの評価であるべきであり、当研究会もそうありたいと強く願っています。

「事業所での環境活動の紹介」

株式会社 マエタ
吉田 辰夫

当社では、設備全体が電気を使用しているため、地球温暖化防止、資源の削減の為、電気削減に取り組んでいます。削減方法としては、変電設備にデマンド監視装置を設置し、契約電力を年間を通して削減して行く方法です。現在は七十五%削減出来ている状態です。

環境美化活動として、近隣の道路沿線のゴミ清掃作業を交通量の少ない、土曜日に社員一同で実施しています。又、

不法投棄防止、松尾地区広場駐車場入口の為、六月・九月には、会社裏側にある松川河の堤防の草刈作業の実施等を行っています。

これからも、地域ぐるみ環境 ISO 研究会の活動を通じ環境活動を促進し行きたいと思っております。

環境問題への取り組み

三菱電機(株)中津川製作所 飯田工場
山田 文孝

水質、大気、CO2問題(温暖化)等々環境問題は色々あります。そのどれも、「コレを実行すればすぐによくなる!」という解決策はありません。当所では省エネと労働時間短縮の目的で賞与支給日と毎月の給与支給日、土日の二〇時に一斉消灯をするプログラムを実行しています。(実施期間〇九年五月・一〇年三月)このような身近で出来ることの積み重ねが解決に繋がると信じて今後、環境問題へ取り組み進んでいきたいと思っております。



地球の夜は、明るすぎる。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
 沢柳俊之(多摩川精機(株))研究会事務局
 横田 豊(飯田市役所) 研究会事務局
 ic1386@city.iida.nagano.jp